

クロシオキシタバ

兵庫県：要注目

Catocala Kuangtungensis

環境省：

種の概要

開張58～68mm程度。前翅はやや緑色みを帯びた暗褐色で斑紋は不明瞭。内横線から腎状紋の間や外横線の前縁部が著しく白化する個体も見られる。後翅は黄色で、中央黒帯と外縁黒帯は2ヶ所で太く繋がりが、翅頂に比較的大きい黄色斑がある。低地の照葉樹林などに生息し、幼虫はウバメガシを食べる。年1化性で、成虫は7月～9月まで見られる。



写真提供：高島昭

国内分布

本州、四国、九州。屋久島

県内分布記録

神戸市、尼崎市、猪名川町、姫路市、赤穂市、洲本市、南あわじ市、淡路市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○	○			

特記事項

産出は食餌植物であるウバメガシ林の存在に依存する。

保護上の留意点